

2022年度(第11回)定時総会日程(Live 配信)

1. 日 時 2022年5月28日（土）
2. 場 所 千葉県栄養士会事務所（Live 配信）
3. 日 程
 - 9：30 受付開始（入室は9：30より）
 - 10：00 開 会
 会長あいさつ
 - 10：10 栄養改善奨励賞授与
 - 10：30 栄養士・管理栄養士研修会（特別講演）
 「正しく情報と付き合うために」
 講師：千葉県立保健医療大学 教授 井上 裕光
 - 11：30 千葉県栄養士会総会
 開 会
 （1）議長選出
 （2）議 題
 第1号議案 議事録署名人選出の件
 第2号議案 2021年度事業報告および収支決算報告並びに
 監査報告承認の件
 報 告 事 項 2022年度事業計画および収支予算報告の件
 第3号議案 2022・2023年度千葉県栄養士会役員選任の件
 第4号議案 2022・2023年度日本栄養士会代議員選挙の件
 - 12：00 閉 会
 第2回理事会
 - 13：00 日本栄養士会連盟千葉県支部総会 開会
 - 13：30 閉 会
 - 14：00 第3回理事会

2022年度(第11回)定時総会資料

第1号議案

議事録署名人選出の件

第2号議案

2021年度事業報告および収支決算報告並びに監査報告承認の件
報告事項

2022年度事業計画および収支予算報告の件

第3号議案

2022・2023年度千葉県栄養士会役員選任の件

第4号議案

2022・2023年度日本栄養士会代議員選挙の件

拡大している中で通常の総会開催は困難のため総会式典、協賛会員による商品展示は中止し、栄養改善奨励賞の表彰、特別講演、総会議事を千葉県栄養士会事務所からLive配信を行った。

定款18条および19条に基づき議決権行使書または委任状により議決を行った。

日 時 2021年5月29日(土) 10:00~12:00

場 所 千葉県栄養士会事務所(zoomによるLive配信)
千葉県市若葉区殿田町1-2-2

内 容 栄養改善奨励賞表彰
特別講演「令和2年度診療報酬改定について～医師の立場から～」
(公社)千葉県医師会
医療保険担当理事 佐藤孝彦氏

総会議事

1. 2021年度定時総会の開催

2021年度定時総会は、新型コロナウイルス感染症の 出席者数(議決権行使書および委任状含む) 845名

2021年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などをとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務をとおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学などに跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1) 1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2) 2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3) 3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4) 4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。 以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。 以下に2021年度事業の実施概要を記載する。	
I. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号) 1. 栄養・健康に関する調査研究事業 1-1 栄養指導研究所の運営(学術部) 栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目指すため、各職域事業部における研究業務の推進及び栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画・運営(Web開催)、健康づくり栄養講座の企画・運営(Web開催)、2022年度生涯教育研修会開催の基本方針の検討、さらに外来栄養食事指導担当者研修並びに居宅療養管理指導担当者研修などの人材育成研修の執行体制などの充実に努めた。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しを行った。 【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査・研究、学会開催、広報等の支援 ④栄養士・管理栄養士、大学教員 ⑤単独 ⑥非該当】	

2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興

2-1 千葉県栄養改善学会の開催（学術部）

栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく特別講演、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、知識・技能・情報を共有することにより、日常の栄養士・管理栄養士業務として、おいしく安全な食事作りや効果的な栄養管理・給食管理・食事療法などの充実、向上を図ることを目指した。なお、新型コロナウイルス感染症予防の観点から2月5日（土）、昨年同様Web開催とした。

学会スローガンは、「私たちは『健康ちば21（第2次）』推進の担い手になろう」のもと、本年度は「Withコロナ時代における栄養士・管理栄養士の使命」をテーマに掲げ、特別講演を2題ライブ配信した。

講演1：「医療安全と管理栄養士—医療現場に存在するリスク—」 龍野 一郎 氏（千葉県立保健医療大学 学長）

講演2：「Society 5.0とSDGsへ、どのように取り組むのか」 中村 丁次 氏（神奈川県立保健福祉大学 学長）

また、本年は、会員からの一般発表（17演題）を口頭による発表とし、活発な討議がなされた。なお、協賛会員による商品紹介については、昨年同様、講演集への広告掲示を行い会員への周知を図った。参加申込者数は95名であったが、当日の入室/接続トラブル対応としてHPへフリー入室の案内を掲示した結果、最終的な参加数は102名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

2-2 「食育媒体の作製と開発」の実技研究会の開催（福祉）

研修の見直しをしたため、予定がなく実施しなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究、開発 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技術の開発を目指し、様々なライフスタイルに即した指導方法の研究に努める。2021年度は大塚製薬株式会社の協力を得て、『サプリメントなど健康食品の賢い活用術』をテーマにサプリメントなど健康食品のニーズが高まり進化し続ける中にある賢い活用術や実際の活用事例紹介、最新の情報提供などを行い、会員21名が参加した。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査・研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、事業に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だよりなどを掲載し「栄養千葉」と併せて3回（4月、8月、12月）に発行した。記事は県民や会員外の栄養士・管理栄養士が読むことができるよう、ホームページへ掲載するとともに事務所掲示板へ掲示した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ④雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤非該当】

2-5 第25回研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮、疾病の再発防止、および、病院給食の質の向上に役立てることを目的に、11月14日（日）にZoomにおいて35名が参加して開催した。内容は、研究発表7演題と第3回プラクティスセミナー同時開催として「医療安全と管理栄養士-医療現場に存在するリスク-」と題し、千葉県立保健医療大学 学長 龍野 一郎 氏による講演を行った。

後日行ったYouTube期間限定配信は12月1日～12日で、総視聴回数は100回であった。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、これまでの食育健康料理教室の実施にあたって考案したレシピ（料理）のうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。各種委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県産米需要拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議

【①県民 ②県の各会議諸省部課等 ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会、会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力し、連携体制の構築に努めた。また、千葉市各区で開催された多職種連携会議に各区1～2名の会員がオンラインで参加して、地域の取り組み推進に係わった。今年度の委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市在宅医療推進連絡協議会

【①市民 ②千葉市の施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として実施した。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの掲載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施に当たっては、適宜、関連科学の定評のある研究者（大学教授員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業
定款上の根拠	第4条第1項第2号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。健康増進法（平成14年8月2日法律第103号）第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1) 1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2) 2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3) 3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士の育成に努めた。以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。以下に2021年度事業の実施概要を記載する。	

Ⅱ. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業（定款第4条第1項第2号） 1. 継続教育・生涯教育事業－基幹研修制度 1－1 生涯教育研修会の開催（学術部） 栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められている。日本栄養士会は、従来から行ってきた生涯学習からキャリア形成を支援できる制度として、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行した。生涯教育制度の基本構造は、「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修がある。2021年度は、20年度に新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止した実務研修9.5単位分を8月28日（土）、9月11日（土）、10月23日（土）の3日、Web開催とした。受講者数（延べ数）は457人、単位取得（延べ数）455単位である。新型コロナウイルス感染症予防の観点から集合型ではなく、初めてのWeb開催となり、かつ演習を伴う実務研修であったことから、講師の先生方にはご苦勞をおかけすることとなったが、参加者からは移動に時間を要しないので参加しやすかったとの感謝の声も聞くことができた。なお、開催に際しては、例年通り開催案内をホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募った結果、コロナ禍ではあったが、参加者増となった。 【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講義・演習 ④講師は栄養士・管理栄養士、医師等の関連職種、大学教授 ⑤単独 ⑥非該当】 1－2 日本栄養士会との共同研修事業の実施（事業部） （公社）日本栄養士会との共同で栄養士・管理栄養士として対応すべき全国的課題を素材に、地域性を活かして実践できる技術、能力を身に付ける研修事業としてきたが、今年度は千葉県として有用なテーマがなく実施を見合わせた。 【①栄養士・管理栄養士・県民 ②事務所掲示板、ホームページ、チラシの配布 ③調理実習・講演 ④講師は管理栄養士及び専門家 ⑤共催 ⑥非該当】 1－3 人材育成研修会の開催（学術部、医療） 担当者の育成・確保を目的として7月31日（土）受講者16名と11月6日（土）受講者21名に実務講習会（Web開催）を実施した。 【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座 ④栄養士・管理栄養士または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】 1－4 栄養士・管理栄養士研修会（総会時特別講演）（総務部） 定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考える上での基本的な事柄について講演会を行うことを目的として、総会終了後に「令和2年度診療報酬改定について～医師の立場から～」と題して、千葉県医師会 医療保険担当理事 佐藤孝彦氏より千葉県栄養士会事務所からWeb開催し講演をいただいた。 【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座 ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】	
--	--

2. 特定職域・特定種類業務研修事業－職域研修制度

公衆衛生事業部

(1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2021年 7月10日(土)	第1回 中央研修会	講演 「“妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針” －日本人妊産婦における体格・食生活習慣の現状と課題」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部栄養学科 教授 谷内洋子	Web開催	87名
11月7日(日)	第2回 中央研修会	講演 「アサーティブを用いた適切な栄養指導 ～聴く・感じる・言う～」 講師 ヘルスサポート研究会カナン代表 女子栄養大学栄養科学研究所 客員研究員 新出真理	Web開催	59名
2022年 1月23日(日)	第1回 情報交換会	テーマ 「地域ケア会議と栄養士の係わり方」 (1) 事例報告：地域ケア会議と栄養士の係わり方 習志野市介護支援課 主査 中村紀子 (2) 意見交換	Web開催	8名

2月6日(日)	第2回 情報交換会	テーマ 「コロナ禍における保健事業について」 (1) 事例報告：コロナ禍における保健活動 東海市保健推進課 指導栄養士 新海美奈子 (2) 意見交換	Web開催	20名
(2) ブロック研修会				
ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
東 葛	2021年 10月26日(火)～ 11月15日(月)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 新しい生活様式における健康づくり・栄養改善事業について	書面開催	10名
	8月2日(月)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 令和3年度事業計画について (2) 食生活改善推進員活動について (3) 特定健診・特定保健指導について (4) 栄養関連事業における試食・調理実習の再開について (5) 食育講演会について (6) 千葉県健康増進事業費を活用した教室について	書面開催	47名
	2022年 2月28日(月)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 災害時の栄養・食生活支援について (2) 食生活改善推進員などについて コロナ禍での食生活改善推進員活動について (3) 保健指導におけるかかりつけ医との連携について (4) 高齢者の保健事業と介護予防一体的事業の取組について	書面開催	47名
さざなみ	2021年 7月12日(月)～ 9月3日(金)	<市 町> 【業務検討】 (1) コロナ禍における栄養活動の実際 <保健所> 【業務検討】 (1) 新しい生活様式における栄養・食生活について① (啓発ツールの検討) 【情報交換】 (1) 食品表示 (巡回調査、相談・指導) について (2) 平常時の災害対策 (給食施設指導、市町との連携等) について	書面開催	24名
	2022年 2月7日(月)	<市 町> 事例発表 <保健所> 【業務検討】 (1) 新しい生活様式における栄養・食生活について② (啓発ツールの検討)	(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止)	—
千葉市	2021年 11月8日(月)	行政管理栄養士の活動、人材育成について	千葉市中央コミュニティセンター	8名
	12月6日(月)	行政管理栄養士の活動、人材育成について	千葉市総合保健医療センター	8名
	2022年 3月7日(月)	行政管理栄養士の活動、人材育成について	千葉市中央コミュニティセンター	8名
医療事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
YouTube配信 7月20日～ 8月1日	第1回 ブラック ティスセミナー	講演 「糖尿病の重症化予防」 講師 東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科部長 鈴木 利彦	YouTube配信	YouTube 総視聴回数 432回
Web 9月19日(日) YouTube配信 10月1日～ 11日	第2回 ブラック ティスセミナー	講演 「楽しく学ぶ！食の国際化、多様性について～ハラル、 ビーガンへの対応をupdate！～」 講師 フードダイバーシティ株式会社 代表取締役 守護 彰浩	Web開催 YouTube配信	Web参加44名 YouTube 総視聴回数 255回
Web 11月14日(日) YouTube配信 12月1日～ 12日	第3回 ブラック ティスセミナー	講演 「医療安全と管理栄養士-医療現場に存在するリスク-」 講師 千葉県立保健医療大学 学長 龍野 一郎	Web開催 YouTube配信	Web参加35名 You Tube 総視聴回数 100回
2月27日(日) YouTube配信 3月1日～ 13日	第4回 ブラック ティスセミナー	講演 「経腸栄養管理のニューノーマル2021～進化する半固形 状栄養剤を中心に～」 講師 医療法人社団悦伝会目白第二病院 副院長 水野 英彰	Web開催 YouTube配信	会場参加18名 You Tube配信 総視聴回数 242回
地区研修会				
地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
千葉地区	7月16日(金)	講演 「油脂栄養と中鎖脂肪酸について」 講師 日清オイリオグループ (株) 東京支店 ウェルネス課 鈴木秀樹	Web開催	10名
東葛南部	2月17日(木)	講演 「・災害備品【食品】とローリングストック・栄養補助食品の災害対策事例」 講師 株式会社明治 関東支社ウェルネス営業一部 営業五課 三輪卓也	Web開催	8名

地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
東葛北部	4月23日(金)	講演 「乳製品のチカラ ～たんぱく質とカマンベールチーズと認知症～」 講師 株式会社明治 マーケティングソリューション部 マーケティング学術グループ 深川史麻	Web開催	17名
印旛	9月22日(水)	講演 褥瘡・スキンケアの栄養管理 講師 ニュートリー（株） 管理栄養士 宮田愛美	Web開催	30名
香取海匠	9月16日(木)	講演 「がんと栄養 悪液質と栄養補助食品 最近の話題」 講師 株式会社クリニコ 千葉営業所 小松舞	Web開催	12名
山武長生夷隅		開催なし		
安房		開催なし		
君津市原	2月17日(木)	講演 「改めて血糖コントロールについて考える ～フリースタイルリブレの使い方を中心に～（仮）」 講師 アボットジャパン合同会社 学術部 土屋裕司	Web開催	13名
延べ件数6件 延べ参加数90名				
機関紙の発行 8月、12月、3月 機関紙発行「菜の花」 105～107号 各550部				
学校健康教育事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2021年 11月27日(土)	勉 強 会	「千葉県の特産物を知ろう」の教材作成（パネルシアター）及び 活用方法について	千葉市民会館	45名（うち 非会員22名）
12月11日(土)	研 修 会	演題 「ICTを活用した食育について」 講師 海老原誠治氏 （一社）食文化国民会議 関東学院大学非常勤講師	公益財団法人 千葉県学校給食会	24名（うち 非会員8名）
2022年 1月29日(土)	研 修 会	調理実演会 千葉県産野菜と長野産きのこを活用した食物繊維たっぷりの和 食給食献立の調理実演 講師 日本料理「鈴なり」 村田明彦	公益財団法人 千葉県学校給食会	会場参加9名 Web参加 73名
福祉事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2021年 6月20日(日)	研 修 会	講演 「令和3年度介護報酬改定で栄養部分はどう変わる！」 講師 （公社）日本栄養士会福祉担当理事 管理栄養士 加藤すみ子	Web開催	64名
8月4日(水)	研 修 会	講演 「食品の機能性食品表示と機能性農産物開発」 講師 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合 研究機構 食品研究部門 ヘルスケア創出研究統括監 山本（前田）万里	Web開催	32名
9月8日(水)	研 修 会	講演 「災害時に使えるパッキング」 講師 防災アドバイザー 岡部梨恵子	Web開催	64名
10月24日(日)	研 修 会	講演 「子どもが好き嫌いの理由と克服のヒント」 講師 キッズ食育トレーナー 玉田悦子	Web開催	36名
① 10月13日(水) ② 11月5日(金) ③ 12月1日(水)	研 修 会	講演 「2021年度福祉スキルアップ研修会 ＜Step00＞・オンライン ～栄養ケア・マネジメントを最初から学ぶ」 講師 （公社）日本栄養士会福祉職域事業推進委員会委員	Web開催	①8名 ②3名 ③4名
2022年 1月22日(土)	研 修 会	講演 「日本食品標準成分表2020年版（八訂）の 概要と活用のポイント」 講師 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊智子	Web開催	84名
地域活動事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2021年 4月24日(土)	第1回研修会	講演 「災害時の備蓄食料、活用法等について」 講師 日本栄養士会 災害支援サポートチーム 運営委員会 山田恵子	千葉市文化セン ターセミナー室	28名
7月11日(日)	第2回研修会	講演 「高齢者のスポーツジムでの運動と筋肉を維持する上での たんぱく質量について」 講師 千葉市健康福祉局医療衛生部保健所食品安全課 主任栄養士 尾出翔子	千葉市蘇我コミュ ニティセンター 講習室	32名
10月9日(土)	第3回研修会	講演 「子どもの貧困と子ども食堂の実態について」 講師 NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ プロジェクトリーダー 森谷 哲	千葉市文化セン ター 会議室	18名
12月	視 察 研 修 会	オンライン視察体験報告	機関紙にて報告	
12月	情 報 交 換 会	開催候補の地産地消こだわりの店舗 イルビーノロレヴィータ探訪報告	機関紙にて報告	

2022年 2月6日(日)	事例研究会	講演 「サプリメントなど健康食品の賢い活用術」 講師 大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 首都圏第一支店 学術担当係長 坂井 博一 ソーシャルヘルス・リレーション担当 大田原 寛	千葉県栄養士会事務所及び Web開催	21名
8、12、3月	機関紙発行	178～180号 各300部		

研究教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2021年 8月28日(土) 13:00～ 17:00	研 修 会 (学 生 ・ 一 般 向 け)	2021年度 第1回 研究教育事業部研修会 テーマ：「スポーツ栄養を目指すあなたへ」 ☆特別講演 「スポーツ栄養分野で働くために ースポーツ栄養をめざすあなたへのアドバイザーー」 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 田口 素子 ☆実践事例紹介 ・「ジュニアアスリートへの実践事例と女性アスリートの健康 問題の現状」 本 国 子 (聖徳大学) ・「年代、競技や環境による栄養サポート内容の違いとそれに 必要な知識とスキル」 永澤貴昭 (和洋女子大学) ・「プロサッカー選手のシーズンを通じた栄養サポート～プロ チームとの契約事例および個人との専属契約事例より～」 鈴木いづみ (とちぎスポーツ医科学センター)	Web開催 (Teams ウェビナー)	200名
2021年 12月19日(日) 13:00～ 16:30	研 修 会 (教員向けスキル アップ研修) 情 報 交 換 会	2021年度 第2回 研究教育事業部研修会 (フォーラムディスカッション) 第1部 フォーラムディスカッション [A]：臨地・校外実習の 充実 ① 2年制栄養士課程給食管理校外実習の現状 昭和学院短期大学 渡邊隆子 ② 臨地実習の充実に向けた本学における教育の実践について 淑徳大学 内堀佳子/雀部沙絵 ―意見交換の場：総合討論― 第2部 フォーラムディスカッション [B]：遠隔 (オンライン) 授業の充実 ① オンライン授業の充実～大学の現状と授業例～ 川村学園女子大学 築館香澄 ② 遠隔授業の工夫 千葉県立保健医療大学 海老原泰代 ―意見交換の場：総合討論―	Web開催 (Zoom/千葉県栄 養士会アカウント)	17名

千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2022年 3月1日～ 3月24日	給食施設研修会	演題「日本人の食事摂取基準と食品成分表の活用について」 講師 東京栄養食糧専門学校校長 渡邊 智子	千葉市保健所 (オンデマンド型 動画配信)	配信回数411回

いずれの事業も【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】として行った。

3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業を適正かつ円滑に行う上で重要な人材確保のため、本会の行う事業の必要性や意義などについて組織財政問題検討委員会において「組織事業強化中長期計画（2021年作成）」に基づいて推進の取り組みなどの理解を深めてきた。職域事業部では身近にいる未加入者への呼びかけ、スマートフォンを活用しての情報提供などを行い、入会の推進に努めた。また、栄養千葉8月号発送時に全会員に対し、身近な未加入者への入会働きかけの文書を同封した。他に、県内養成校9校に卒業予定者への入会を働きかけるため、「入会案内」リーフレットなどの配布をした。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは定款第3条、同第4条第1項第2項および事業計画書その他に記載し、ホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、研修等の内容や開催日時、受講資格開かれていることなどをホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には実務家養成の見地から、適宜、定評のある、研究者、(大学教員、専門職、その他の専門家を招くなどして、理論的にも実践的にも高い質の確保に努めた。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う、栄養士・管理栄養士を育成することを通して、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により、事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおり、県民の健全で裕り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項第3号

事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」（食育基本法前文）とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「（教育を通じて）国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」（公益法人認定法別表9号）にも該当する。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」（食育基本法前文）とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「（教育を通じて）国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」（公益法人認定法別表9号）にも該当する。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】 健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、（1）1つ目の柱は、個々の県民の個別性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。（2）2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。（3）3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動とおして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。 以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。 以下に、2021年度事業の実施概要を記載する。	
Ⅲ. 県民が健康で稔り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業（定款第4条第1項第3号） 1. 個別特性対応型の自律支援事業 1-1 テレフォン栄養相談事業（広報部） 第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。また事業の適正な運営を図るため、9月、3月に2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて、事業の内容を千葉日報「現代食事考」、千葉県中小企業団体中央会「情報誌」の記事の後に記載する他、本会ホームページのトップページに本事業の案内を掲載した。また、会員が身近な県民に対して、案内ができるようチラシやカードの更新・配布に努めた。本会が協力する学会の大会誌の広告欄に広報活動を行った。2021年度の相談件数は10件であった。 【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】 1-2 特定保健指導の実施（総務部） 前年度に引き続き、中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部・市川支部の初回指導および3ヶ月から6ヶ月の間に継続指導などの個人指導を行うほか、保健指導の実施率の向上を図るため、検診時腹囲の他1つ以上保健指導の要件のある者に対し初回面談を行い、かずさ支部、千葉支部、市川支部の検診時に担当者が向ういて個人面談を実施した。 これらを含め延べ98名（動機づけ支援33名、積極的支援65名、支援レベル未確定0名）に対して保健指導を実施した。担当者の育成・確保のための担当者会議を9月、3月に2回開催した。 【①県民 ②主催者の広報、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】 1-3 介護予防栄養改善事業の実施（総務部） （株）ダンロップスポーツウエルネスからの依頼を受け、介護予防教室の栄養改善を担当し講義を行っていたが、依頼がなく、実施しなかった。 【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】 1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業（事業部） 日赤からの依頼がなく、実施しなかった。 【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】 1-5 外来栄養食事指導の実施（総務部） 担当者との育成・確保を目的として、7月31日（土）受講者16名と11月6日（土）受講者21名に実務講習会（Web開催）を実施した。診療所等と外来栄養食事指導の業務契約を結ぶことを目的で、栄養・食事指導の実施マニュアルや運営方法の検討を行った。 【①県民 ②依頼者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】 2. 集団特性対応型の自律支援事業 2-1 千葉市健康づくり大会への協力事業（千葉地域） 千葉市きばーで開催予定だった千葉市健康づくり大会（健康フェア）は新型コロナ感染拡大防止のため中止となった。 【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関係専門職 ⑤共催 ⑥非該当】 2-2 がん予防展への協力事業（事業部） 9月のがん征圧月間にあたり、千葉県、（公財）ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」を開催し、がん予防・健康増進の意識高揚に努めている。例年、開催地区の医療事業部会員が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談を担当している。今年度、がん予防展は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、講演会については10月23日から10月31日の間Web（オンデマンド）配信により実施された。 【①県民 ②主催者の広報 ③展示、相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職種 ⑤協力 ⑥非該当】	

2-3 地域健康づくり推進事業（医療）

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の機能団体が開催する健康増進に関するイベントに参加、協力し、地域住民に対する展示や食生活相談などを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催されなかった。

【①県民 ②主催者の広報、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-4 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になり、9月末にYouTubeでの配信となった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-5 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県集団給食協議会連合会）の共催により例年9月に千葉県他の後援を得て第1部は「大会式典」、第2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として開催している。

今年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合形式は中止とし、健康づくりや食生活改善等に御尽力いただいた方への知事表彰と共催各団体会長表彰については紙面により発表した。また、食生活講演会については、千葉県の協力を得て千葉県公式セミナーチャンネルのWeb（オンデマンド）配信により「食べる時間でこんなに変わる時間栄養学入門」と題して早稲田大学先進理工学部教授柴田重信氏に御講演をいただいた。Web配信は9月30日から10月6日の1週間実施し978回の再生回数があった。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ、他 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

2-6 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

例年、県民を対象とした健康づくりや健康寿命の延伸に役立つ内容として、栄養・運動・休養に関する講座を開催している。今年度は、2022年1月22日（土）に、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点からWeb開催とした。テーマは「健康づくりは栄養・運動・休養 -冬のアクシデント/ヒートショックを防ぐために-」とし、講座内容は以下のとおりである。なお、参加者は34名であった。

講座1：食事・食生活領域 「ヒートショック・プロテインから考える食生活と健康」

聖徳大学人間栄養学科 教授（千葉県栄養士会理事） 池本 真二

講座2：運動・身体活動領域 「身体活動の重要性とその効果 -生活習慣病・フレイルを予防しよう！-」

高崎健康福祉大学 健康栄養学科 教授（公認スポーツ栄養士/健康運動指導士） 木村 典代

講座3：休養・睡眠領域 「快適な睡眠と食事の関係 ~今日から実践できる食事と睡眠法~」

一般社団法人 日本パーソナル管理栄養士協会代表理事（食の相談窓口 San-CuBic 代表/管理栄養士） 三城 円

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、チラシの配布 ③講座・セミナー ④大学教員 ⑤単独 ⑥非該当】

2-7 食育健康料理教室の開催（事業部）

この事業は、平成16年から公民館を利用して健康づくりと生活習慣病の予防・食育の推進を目的として、県民に直接望ましい食と栄養について実習を通じて活かしかける事業として開始した。適正、円滑な運営を図るための手引の作成と担当者会議を開催し実施してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理実習の会場借用が困難なこと等から、2020年度に引き続き教室の開催は中止とした。コロナ禍での実施方法としてWeb開催の検討を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて十分な検討に至らなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシなどの配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室） ④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

2-8 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、食と栄養を通じた健康づくりの支援を行った。5件の依頼に対して延べ5名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講演・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-9 親子料理教室の開催（学校健康教育）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も実施を見合わせた。

【①県民 ②該当する学校へチラシ配布 ③体験活動（調理実習）、講習・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-10 千葉市食育の日事業への協力（千葉地域）

食育月間事業として、6月1日から7月4日まで中央区千葉都市モノレール千葉駅ステーションギャラリー、稲毛区役所1階市民ロビー、イオン稲毛店4階、生涯学習センターアトリウムにおいて、食育に関する資料および地産地消レシピ等の配布を行った。参加者数は延べ2550人であった。

プロから学ぶ食育教室を千葉市蘇我コミュニティセンターで8月3日に参加者14名、11月14日に参加者11名、千葉市真砂コミュニティセンターで11月20日午前に参加者10名と午後に参加者19名、12月27日に参加者14名で開催し、郷土料理の理解と家庭での食育推進を図った。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-11 調理補助講習事業への協力事業（事業部）

（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の求めに応じて、派遣就業を希望する高齢者の就業機会の拡大を図るため、調理補助者などとして必要な知識を習得することを目的として、調理実習と講和を実施してきたが、依頼がなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-12 千葉県学校保健学会への協力事業（学校健康教育）

12月5日（土）オンラインで行われた第24回千葉県学校保健学会のワークショップに参加した。健康教育、学童期における食育の推進、地産地消の観点から、「千葉県の特産物を知ろう」というテーマで、今年度は、パネルシアターの作成を行った。和やかな中にも有意義な研修であった。

【①栄養士・管理栄養士、関連職種 ②主催団体の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士、関連職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-13 ウェルネスセミナー開催への協力事業（事業部）

大塚製薬（株）から依頼を受け実施しているが、2021年度は11月2日に船橋市で開催し20名が参加。勝浦市で午前・午後に分けて開催し、それぞれ24名、20名が参加した。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-14 災害時栄養支援事業（総務部）

会議を定期的に開催し事業の円滑な実施に努めた。JDA-DATリーダーの確保に向けて、会員に日本栄養士会の開催するリーダー研修会への参加を奨励し3名（スキルアップ研修会1名含む）が受講し、研修会修了者は延べ15名になった。スタッフの確保および資質の向上を目的として、「日本栄養士会災害支援チーム活動マニュアル」を基に研修内容を企画し、感染防止の観点から、Web開催にて、10月16日（土）にスタッフスキルアップ研修会を午後半日の日程で開催し延べ23名が受講した。JDA-DAT千葉の登録の充実を図るため、LINEオープンチャットを活用した登録通知を郵送し、リーダー、スタッフ登録者の26名の登録を得た。日本栄養士会の作成した、「各都道府県栄養士会災害対応におけるアクションカード運用マニュアル」を基に「アクションカード」の理解と見直し、および、千葉県用のアクションカードの作成に向けて検討を行い、災害発生時の迅速・円滑な支援体制の整備に向けて準備を進めた。非常災害に備えた啓発活動については、千葉日報・現代食事考に食料の確保対策について2回掲載した。併せて、パッキンググレンジ集の作成に向けてレシピの作成と試作・検討を行い、パッキングに関する記事とレシピをホームページに掲載した。

【①県民 ②ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-15 介護摂食嚥下等相談事業（学術部）

介護・摂食嚥下関係の食事や栄養に関して、他の関係職種の方々から本会に問合せがあった時に、速やかに専門的知識を有する者を紹介できるよう人材を確保して対応を図ったが、問合せはなかった。

【①関係専門職種 ②ホームページ ③情報提供 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-16 栄養の日事業（事業部）

「栄養の日」（8月4日）が定められ、栄養週間（8月1日～7日）が設けられたことから、この期間に栄養の日の趣旨及び食生活の改善に関するパネル展示を行い食と栄養を通じた健康づくりの普及・啓発に努めている。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面型の活動は中止とし、千葉日報「現代食事考」（8月1日発行）に「栄養の日」に関する記事を掲載し、周知及び普及を図った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報、毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー、展示 ④大学研究者、専門家、管理栄養士 ⑤主催、共催 ⑥非該当】

2-17 健康づくり提唱のつどい

千葉県北部ヤクルト販売㈱の協賛を得て3年毎に開催しており、本年度は開催予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページを利用して多くの人々に千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と、食と栄養の観点から健康づくりに役立つ情報を提供するように努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、対面型からWeb開催型への移行が進み昨年度より研修会等の情報提供を増やすことができた。また、協賛会員対応としてトップページに「協賛会員からのお知らせ」を増設し情報提供に努めた。

健康づくりに役立つ情報としての「現代食事考・かしこく食べる」の内容の見直し・最新の情報に書き換え、および「『地産地消』レシピ」の季節に合わせての更新は行った。ホームページ運営委員会を6月、10月、2月の3回 Web併用にて実施し運営方法の充実に努めた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞「現代食事考」欄に、年間執筆計画をもとに国の健康づくりに関する月間・年間行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用に関する記事を会員の協力を得て提供した。

2021年度は52回分の記事提供となり、掲載された記事は冊子として作成した。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業（事業部）

今年度はNHK千葉放送局の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

食生活改善や疾病の予防に関するパネルを作成し、「栄養の日」、地域の健康づくりイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行っているが、2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面型イベント中止に伴い0件であった。2021年度のパネル新規作成は行わなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネル作成 ⑤単独 ⑥非該当】

3-5 千葉県中小企業団体中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業団体中央会情報誌「中小企業ちば」の「食と健康ワンポイント」欄に年4回記事を提供し、県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。

【①県民 ②中小企業団体中央会「情報誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-6 千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」への記事の提供事業（広報部）

千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」に手に入れやすい旬の食材を使ったレシピを5回掲載した。レシピ作成・料理については地域活動事業部会員の協力を得て行い、県民の健康維持に役立てられるように支援した。

【①県民 ②千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師は、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することとおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に係る事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、栄養士・管理栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、（1）1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。（2）2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。（3）3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むこととおして、県民の食環境を望ましいものにすべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。 以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。 以下に、2021年度事業の実施概要を記載する。	
Ⅳ. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号） 1. 連携構築事業 1－1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部） 関係機関、団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して健康づくりや疾病予防に関する各種事業の推進を通じて、連携の強化を図った。今年度の状況は以下のとおり。 <関係機関・関係団体> （公社）千葉県医師会、（一社）千葉県歯科医師会、（公社）千葉県看護協会、（一社）千葉県歯科医師会、（一社）千葉県調理師会、（一社）千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食連合会、（公財）ちば県民保健予防財団）、（一社）千葉県薬剤師会 <関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織> 障害児（者）のための摂食嚥下指導事業推進委員会、千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議・講習会 <催しへの協力> 千葉県歯科衛生士会主催「かむ子・のびる子、元気な子」料理コンクール（文書審査）の催しの「料理審査担当」を務めるとともに、「栄養士会会長賞」の授与を行った。 【①県民 ②主催団体の広報 ③その他（情報発信） ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】 1－2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部） 特定給食施設で共に働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格者の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、（一社）千葉県調理師会の行う調理師試験受験準備講習会の開催・運営に協力した。平成28年度から本会が公衆衛生、栄養学、食品学、調理理論、食文化概論を担当して実施している。8月21日～9月13日の間に県内3会場で開催された講習会に延べ15名（講師11名）が講師を務めた。講習会の実施にあたって、調理師試験対策委員会および準備講習会講師合同会議を開催し、調理師試験の概要、受験準備講習会の趣旨、講師を務めるにあたっての留意事項などについて共通理解を深め講習内容の充実にも努めた。 【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】 1－3 「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく講習会への協力事業（事業部） 平成28年度4月1日からの県条例の施行に伴い、（一社）千葉県調理師会の本部、支部が実施することになった講習会の開催にあたり、前年度に引き続き受験準備講習会の講師が「栄養と健康」「食文化」を担当し、研修会の適正・円滑な実施に協力した。4会場で開催され4名が講師として運営に協力した。 【①調理師 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】 2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業 2－1 栄養改善奨励賞の授与（学術部、総務部） 栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的として行った。第22回千葉県栄養改善学会において発表された一般発表17演題を対象に、顕彰審査委員会を2月19日（土）にWeb開催し厳正に審査した結果、4題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、2022年度定時総会式典において表彰することとした。 決定した演題は、以下のとおりである。 演題番号5：市原圏域糖尿病性腎症重症化予防の取り組みについて（最上美女江、他1名/帝京大学ちば総合医療センター） 演題番号9：高齢者施設における摂食嚥下障害者が安全に液体を飲み込める為の取り組み～学会分類2013（とろみ）の活用とリセットゲルの導入～（中村典子/社会福祉法人小羊会 特別養護老人ホーム柏こひつじ園） 演題番号10：コロナ禍における地域で連携した若い世代への野菜摂取の啓発活動～小学生を対象とした「クッキングレポート」の実施について～（高橋佳子、他7名/千葉市美浜保健福祉センター健康課） 演題番号16：「健康経営の取り組みによる社員意識変化について（原 喜子/千葉県ヤクルト販売株式会社）」 【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準、評価基準の新設 ⑤単独 ⑥非該当】	

3. 適正な食生活を支援する制度の整備

3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）

栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、千葉県教育委員会主管課に対して、栄養教諭の配置促進、市町村費負担の学校栄養職員への栄養教諭の門戸拡大などの要望書を千葉県教育庁に会長他担当者が持参し、今までの増員の御礼を述べるとともに、栄養教諭を配置することの成果などのアンケート結果などを説明する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業（総務部）

日本栄養士会の要望活動趣旨に応じて実施しており、これまで、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくりの進展を目的に市町村行政栄養士の複数配置や高齢者の低栄養や生活習慣病重症化予防等の栄養課題への対策をより充実し効果をあげるために、健康づくり部門のみならず、高齢福祉・介護保険部門への管理栄養士の正規職員配置促進について、県内市町村における行政栄養士の従事状況を踏まえ要望活動を実施してきたが、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けて日本栄養士会としての活動を見合わせたことから、実施しなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業（総務部、組織部）

高齢社会が進行し健康づくりや生活習慣病の重症化予防、介護予防などの栄養管理の重要性が高まる中、県民の要望に応えるため無料職業紹介所を併設し、ホームページなどで事業者および栄養士・管理栄養士に利用を案内し、37件の求人、4件の求職があった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 食品の栄養成分表示の促進事業（事業部）

消費者に食を通じた健康づくりの必要性の理解を深め、健康づくりの推進とともに、高齢者を対象とした配食サービスで提供される食事の栄養管理の充実に向け、これらの製造などに関わる事業者などの求めに応じて食品の栄養成分表示を促進するために体制の整備を図ることを計画したが、依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるように努めた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民（地域住民）の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を實現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

V. 法人運営に関する事業

1. 各種事業の充実への取り組み

1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などを定期的に開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議、委員会等はリモート会議（Zoom）とした。

1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、事務の理解と事務処理の効率化に務めた。また会計事務の充実をもとに、経費の節減と効率的な執行に務めることなどを中心に、業務の適正かつ効率的な運営に努めた。公益法人会計システム更新の準備を行った。

1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を8月21日（土）と11月13日（土）に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に務めた。また、12月5日（土）の日本栄養士会栄養ケア・センターリーダー研修会に参加し、その報告並びに県内認定栄養ケア・ステーションとの情報交換会議を認定栄養ケア・ステーション連絡会議として1月22日（土）にWeb開催した。

1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当学会議の開催（総務部）

7月17日（土）各部との合同により職域事業部各役員を対象に研修会および会議を実施し、今年度の事業および組織運営など基本的な事柄について理解を深めた。また、職域事業部の会計担当者を対象に会計担当学会議を6月19日（土）に開催し、職域事業部・地域事業部における会計処理方法について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。（両会議ともWeb開催）

1-5 組織財政問題検討委員会の開催（総務部）

委員会を6月12日（土）と2月12日（土）に開催し、総会で承認を得た組織事業強化中長期計画（2021年作成）の推進をはじめとする公益社団法人としての組織強化と財政基盤の強化に必要な事項について総合的に検討を進めた。

1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

会報誌「栄養千葉」および「ホームページ」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。また、協賛会員との相互理解を深めることを目的とする新春賀詞交換会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。展示会の開催もできなかったことから昨年に引き続き千葉県栄養改善学会の冊子に広告を掲載した。

1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

日本栄養士会が進めるJDA-DAT事業の推進に向け、各職域事業部から推薦された委員による非常災害対策委員会を設置し、委員会を開催した。6月6日（日）、8月7日（土）、10月2日（土）、12月4日（土）、2月12日（土）

1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局の作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動引き落とし」利用者の増加に向けて、会報誌「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。利用者は363名（昨年より3名増）となった。

1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に務めた。併せて各種事業の経費節減に務めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書の発送を行うとともに各職域事業部と連携し電話などでの納入依頼などを行い、財政基盤の強化に努めた。

1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

会員からの相談はなく、委員会は開催しなかった。

1-11 (公社) 日本栄養士会関係会議への出席 (総務部)

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係Zoom会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

1-12 諸規程の整備 (総務部)

公益法人としてのより適正な組織・運営を行うため、業務の実施状況や実態と規程内容について点検し、各種規程の整備を行った。

1-13 会報「栄養千葉」の発行 (広報部)

4月、8月、12月に137号～139号を発行した。記事は簡潔明瞭に努め、ページ数が増えないように配慮した。

1-14 長谷川克己氏叙勲受章祝賀会 (総務部)

長谷川克己先生が令和元年秋に旭日双光章を受章したのを祝い、祝賀会を予定していたが、新型コロナウイルス感染が収束する状況に至らず、延期することとした。

1-15 公益法人室立入検査への対応 (総務部)

12月21日(火)に千葉県政策法務課公益法人班による立入検査が行われ、会長他担当者4名が対応した。平成29年度から令和2年度までの「公益目的事業の実態」「機関運営ガバナンス」「財務状況会計経理」についての書類等の確認および質問が実施されることから、これらの事項を裏付ける資料を、法人の組織や事業内容等に応じて準備し対応した。

2. 組織・事業強化中長期計画の推進 (組織部)

2021年度定時総会で承認された「組織事業強化中長期計画(2021年作成)」に沿って、組織財政検討委員会で理解を深めながら、初年度方針の具体化を進めることができた。コロナ禍での活動を余儀なくされている中、(公社)千葉県栄養士会の活動のあり方および、個々の会員の意識を把握するための「会員アンケート」を準備して来て、2022年4月実施予定となっている。また、退会届に「退会理由」の記述欄を設け、今後の活動に反映していくことになった。

3. 会議の開催

理事会

第1回 2021年4月10日(土)

- 2020年度収支決算および監査報告について
- 2021年度定時総会の開催運営について
- 2021年度生涯教育研修会の開催について
- 第4次組織強化長期計画の取り組みの成果と組織事業強化中期計画(2021年作成)について
- 診療所等における外来栄養食事指導等の運営について
- 栄養の日事業について
- 健康づくり栄養講座の開催について
- IT化の推進について
- その他

第2回 2021年5月29日(土)

- 2021年度事業の執行について
- 2021年度生涯教育研修会の開催運営について
- 2021年度介護報酬改定に向けての取り組みについて
- 2021年度事業・会議予定について
- 栄養千葉138号(8月号)・栄養士会雑誌34号発行計画について
- その他

第3回 2021年7月3日(土)

- 2021年度事業の執行について
- その他

第4回 2021年9月4日(土)

- 千葉県栄養改善大会の開催について
- 食育・健康料理教室の開催について
- 健康づくり栄養講座の開催について
- 人材育成研修会の開催運営について
- JDA-DATスタッフ研修会の開催について
- 千葉県栄養改善学会の開催について
- 栄養千葉139号・栄養士会雑誌No.35の発行について
- 会員の満足度調査について
- その他

第5回 2022年1月15日(土)

- 第22回千葉県栄養改善学会の開催運営について
- 今年度事業について
 - 健康づくり栄養講座の開催について
 - 食育健康料理教室について
 - 会員アンケートについて
- 2021年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
 - 2021年度事業報告の作成方法について
 - 2021年度職域事業部・地域事業部の収支決算書の作成方法について
- 2022年度生涯教育研修会の開催について
- 2022年度事業計画・収支予算案の作成(職域事業部・地域事業部含む)について
 - 2022年度事業計画の作成方法について
 - 2022年度職域事業部・地域事業部の収支予算案の作成について
- 栄養ケア・ステーション事業について
- 2022・2023年度役員の選任について
- 2022年度定時総会の開催について
 - 2021年度事業報告・決算書類・2022年度事業計画等の作成日程について
 - 2022年度定時総会の開催について
- 2021年度収支見込みと事業の見直しについて
- 栄養千葉140号(4月号)・千葉県栄養士会雑誌No.36号発行計画について
- 会員の入会の承認について
- 協賛会員の入会の承認について
- 会計ソフトの購入について
- 千葉県政策法務課公益法人班による立入検査の実施と結果の対応について
- その他

第6回 2022年3月12日(土)

- 2021年度事業報告案の作成について
- 2022年度事業計画・収支予算の決定について
- 2022年度生涯教育研修会の開催について
- 2022年度定時総会の開催について
- 2022・2023年度各種委員会委員の選出について
- その他

部長会

第1回 2021年5月8日(土)

1. 2021年度定時総会の開催運営について
2. 生涯教育研修会の開催運営について
3. 2021年度事業の執行について
4. 2021年度介護報酬改定に向けての取り組みについて
5. 2021年度事業・会議予定について
6. 栄養千葉138号(8月号)・栄養士会雑誌34号発行計画について
7. その他

第2回 2021年6月12日(土)

1. 2021年度事業の執行について
2. その他

第3回 2021年8月21日(土)

1. 千葉県栄養改善大会の開催について
2. 食育・健康料理教室の開催について
3. 栄養講座の開催について
4. 人材育成研修会の開催運営について
5. JDA-DAT スタッフ研修会の開催について
6. 千葉県栄養改善学会の開催について
7. 栄養千葉139号・栄養士会雑誌No.35の発行について
8. 会員の満足度調査について
9. その他

第4回 2021年11月13日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催について
2. 今年度事業について
3. 2021年度事業報告・収支決算書のとりまとめについて
4. 2022年度生涯教育研修会の開催について
5. 2022年度事業計画・収支予算案の作成について
6. 2022・2023年度役員の選任について
7. 2022年度定時総会の開催について
8. 2021年度収支見込みと事業の見直しについて
9. その他

第5回 2022年2月26日(土)

1. 2021年度事業報告案の作成について
2. 2022年度事業計画、収支予算案の作成について
3. 2022年度生涯教育研修会の日程について
4. 2022年度定時総会の開催について
5. 2022・2023年度各種委員会の選出について
6. その他

貸 借 対 照 表

2022年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,960,531	17,119,678	840,853
前払費用	72,270	197,010	△ 124,740
流動資産合計	18,032,801	17,316,688	716,113
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	5,880,672	6,674,733	△ 794,061
基本財産合計	5,880,672	6,674,733	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,646,288	2,526,266	120,022
医療機関栄養業務実態調査預金	474,399	462,096	12,303
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,527,319	3,557,285	△ 29,966
特定資産合計	7,248,006	7,145,647	102,359
(3) その他固定資産			
什器備品	11,800	13,242	△ 1,442
ソフトウェア	0	0	0
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	311,800	313,242	△ 1,442
固定資産合計	13,440,478	14,133,622	△ 693,144
資産合計	31,473,279	31,450,310	22,969
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	4,219,000	4,699,500	△ 480,500
預り金	2,754,511	3,011,606	△ 257,095
流動負債合計	6,973,511	7,935,756	△ 962,245
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,643,670	2,523,670	120,000
固定負債合計	2,643,670	2,523,670	120,000
負債合計	9,617,181	10,459,426	△ 842,245
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	21,856,098	20,990,884	865,214
(うち基本財産への充当額)	(5,880,672)	(6,674,733)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(7,248,006)	(7,145,647)	(102,359)
正味財産合計	21,856,098	20,990,884	865,214
負債及び正味財産合計	31,473,279	31,450,310	22,969

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息			
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	57	55	2
③ 受取入会金			
受取入会金	135,000	125,000	10,000
④ 受取会費			
受取会費	14,657,500	14,720,000	△ 62,500
受取協賛会費	2,850,000	2,800,000	50,000
⑤ 事業収益			
受取受講料（会員）	712,300	386,300	326,000
受取受講料（会員以外）	38,600	19,000	19,600
受取分担金	60,000	20,000	40,000
受取業務手数料	3,435,537	1,626,457	1,809,080
受取事業協賛金	200,000	210,000	△ 10,000
販売収益	1,000	1,000	0
雑収益	0	16,766	△ 16,766
⑥ 受取補助金			
受取地方公共団体他補助金	0	0	0
⑦ 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益			
受取利息	72	979	△ 907
経常収益計	22,090,066	19,925,557	2,164,509
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	5,055,963	4,872,336	183,627
臨時雇賃金	825,420	446,800	378,620
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	465,467	469,388	△ 3,921
会議費	265,275	302,657	△ 37,382
旅費交通費	606,416	440,638	165,778
通信運搬費	1,594,925	1,187,798	407,127
減価償却費	556,853	556,977	△ 124
消耗品費	884,206	653,105	231,101
印刷製本費	668,729	541,995	126,734
光熱水料費	234,425	216,387	18,038
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	27,394	43,045	△ 15,651
諸謝金	2,760,784	1,609,559	1,151,225
会場費	146,888	147,925	△ 1,037

科 目	当年度	前年度	増 減
リース料	466,503	466,503	0
食料費	30,487	32,370	△ 1,883
支払負担金	441,366	472,676	△ 31,310
渉外費	0	0	0
表彰費	33,217	44,290	△ 11,073
修繕費	11,127	0	11,127
消耗什器備品費	0	0	0
租税公課	38,640	56,910	△ 18,270
雑費	57,361	81,838	△ 24,477
事業費計	15,897,446	13,369,197	2,528,249
② 管理費			
役員報酬	360,000	360,000	0
給料手当	1,263,990	1,218,083	45,907
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	116,366	117,347	△ 981
会議費	216,644	272,118	△ 55,474
旅費交通費	76,788	102,463	△ 25,675
通信運搬費	257,785	349,555	△ 91,770
減価償却費	238,650	238,704	△ 54
消耗品費	195,403	201,212	△ 5,809
印刷製本費	1,564,894	1,635,004	△ 70,110
光熱水料費	100,467	92,737	7,730
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	6,588	6,513	75
諸謝金	135,729	290,995	△ 155,266
会場費	0	12,275	△ 12,275
リース料	199,929	199,929	0
食料費	1,765	496	1,269
支払負担金	96,714	92,844	3,870
渉外費	110,130	96,166	13,964
表彰費	49,045	37,505	11,540
修繕費	4,768	0	4,768
租税公課	16,560	24,990	△ 8,430
雑費	21,191	37,524	△ 16,333
管理費計	5,327,406	5,680,460	△ 353,054
経常費用計	21,224,852	19,049,657	2,175,195
当期経常増減額	865,214	875,900	△ 10,686
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	865,214	875,900	△ 10,686
一般正味財産期首残高	20,990,884	20,114,984	875,900
一般正味財産期末残高	21,856,098	20,990,884	865,214
II 正味財産期末残高	21,856,098	20,990,884	865,214

2021年度正味財産増減計算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公 1 科学技術 振興事業	公 2 人材育成 事業	公 3 自律支援 事業	公 4 食環境 整備事業	公益共通	公益事業計			
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息	1	0	0		56	57		57	
受取入会金									
受取入会金					67,500	67,500	67,500	135,000	新入会者 135名
受取会費									
受取会費					7,328,750	7,328,750	7,328,750	14,657,500	会員1,464名、職域事業部のみ7名
協賛会費					2,850,000	2,850,000		2,850,000	協賛会費57口（2020年度分1口含む）
事業収入									
受取受講料（会員）		670,500	41,800			712,300		712,300	生涯教育研修会 3日間分参加費他
受取受講料（会員以外）	2,000	36,600	0		0	38,600		38,600	研修会参加費
受取分担金		0	30,000			30,000	30,000	60,000	改善大会・食生活講演会
受取業務手数料		0	2,525,467	336,000	334,820	3,196,287	239,250	3,435,537	栄養ケアステーション事業、会費納入・封入手数料
受取事業協賛金	0	50,000	150,000			200,000		200,000	ホームページ他各種事業への協賛金
販売収益		1,000	0			1,000		1,000	
雑収益					0	0	0	0	
受取補助金等						0		0	
受取補助金		0	0			0		0	
受取寄付金						0		0	
受取寄付金						0		0	
雑収益						0		0	
受取利息		23			49	72	0	72	受取利息
雑収益						0		0	
経常収益計	2,001	758,123	2,747,267	336,000	10,581,175	14,424,566	7,665,500	22,090,066	
(2)経常費用									
事業費									
給料手当	823,616	2,079,519	1,826,719	326,109		5,055,963		5,055,963	職員給料・手当
臨時雇賃金	80,220	34,200	711,000	0		825,420		825,420	繁忙期臨時雇入れ職員
退職給付費用	15,638	39,486	34,684	6,192		96,000		96,000	
福利厚生費	75,824	191,448	168,173	30,022		465,467		465,467	社会保険、労働保険、健康診断
会議費	17,185	174,434	67,223	6,433		265,275		265,275	
旅費交通費	56,289	290,669	222,495	36,963		606,416		606,416	
通信運搬費	480,744	879,494	206,330	28,357		1,594,925		1,594,925	栄養士会雑誌等発送費含む
減価償却費	90,711	229,035	201,190	35,917		556,853		556,853	建物、什器備品
消耗品費	103,853	283,375	463,228	33,750		884,206		884,206	事務機器他消耗品
印刷製本費	366,002	271,438	26,801	4,488		668,729		668,729	封筒、振替用紙他
光熱水料費	38,187	96,421	84,697	15,120		234,425		234,425	電気・ガス・水道料
賃借料	102,627	259,119	227,619	40,635		630,000		630,000	事務所地代
保険料	5,100	8,640	11,587	2,067		27,394		27,394	
諸謝金	205,098	1,172,439	1,102,865	280,382		2,760,784		2,760,784	生涯教育他講師等謝金
会場費	0	137,228	9,660	0		146,888		146,888	
リース料	75,993	191,874	168,547	30,089		466,503		466,503	事務機器リース料
食料費	2,007	28,049	405	26		30,487		30,487	
支払負担金	36,760	106,018	187,233	111,355		441,366		441,366	防犯契約
渉外費	0	0	0	0		0		0	
表彰費	0	0	0	33,217		33,217		33,217	栄養改善奨励賞
修繕費	1,812	4,578	4,020	717		11,127		11,127	
租税公課	6,294	15,894	13,960	2,492		38,640		38,640	
支払利息	0	0	0	0		0		0	
消耗什器備品	0	0	0	0		0		0	
雑費	7,855	34,321	12,949	2,236		57,361		57,361	
事業費計	2,591,815	6,527,679	5,751,385	1,026,567	0	15,897,446		15,897,446	
管理費	0.163	0.411	0.362	0.065		1		1	
給料手当						1,263,990	1,263,990		職員給料・手当
臨時雇賃金						0	0		
退職給付費用						24,000	24,000		
福利厚生費						116,366	116,366		社会保険、労働保険、健康診断
会議費						216,644	216,644		改善大会含む
旅費交通費						76,788	76,788		
通信運搬費						257,785	257,785		電話料、メール便、切手
減価償却費						238,650	238,650		建物、什器備品
消耗品費						195,403	195,403		事務機器他消耗品
印刷製本費						1,564,894	1,564,894		栄養千葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費						100,467	100,467		電気・ガス・水道料
賃借料						270,000	270,000		事務所地代
保険料						6,588	6,588		
諸謝金						135,729	135,729		税理士報酬
会場費						0	0		
リース料						199,929	199,929		事務機器リース料
食料費						1,765	1,765		
支払負担金						96,714	96,714		防犯契約、日赤ほかへの寄付
渉外費						110,130	110,130		
表彰費						49,045	49,045		
租税公課						16,560	16,560		
役員報酬						360,000	360,000		
修繕費						4,768	4,768		
雑費						21,191	21,191		
管理費計	0	0	0	0	0	5,327,406	5,327,406		
費用合計	2,591,815	6,527,679	5,751,385	1,026,567		15,897,446		21,224,852	
公益事業比率	0.122	0.308	0.271	0.048		0.749	0.251		

財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管		
		現金	運転資金として	151,715
		職域事業部・千葉地域事業部現金	運転資金として	122,276
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普 2 0 0 6 5 7 6	運転資金として	547,061
		普 2 0 2 0 6 0 9	運転資金として	697,379
		普 3 1 9 2 7 0 0	運転資金として	390,396
		普 3 4 0 9 5 9 8	運転資金として	341,771
		千葉信用金庫作草部支店		
		普 0 6 8 2 2 4 2	運転資金として	321,719
		普 0 6 8 5 1 5 1	運転資金として	2,830,078
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,139
		10570-30174421	運転資金として	1,268,978
		10530-10135981	運転資金として (公衆衛生)	260,789
		10520-37125371	運転資金として (医療)	497,452
		10520-54350591	運転資金として (地活)	216,448
		10130-79051931	運転資金として (研教)	59,796
		10540-39470871	運転資金として (学校)	245,634
		10540-9029131	運転資金として (福祉)	581,587
	振替口座	ゆうちょ銀行		
		00110-7-779711	運転資金として	221,394
		00180-2-94011	運転資金として	7,354,819
		00180-0-576091	運転資金として	1,801,100
			【現金預金計】	17,960,531
	前払費用	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	72,270
			【前払費用計】	72,270
流動資産合計				18,032,801

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産)				
基本財産	建物	115.7㎡ 千葉県若葉区殿台町1 2 2 平屋1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0% 【基本財産計】	5,880,672 5,880,672
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた 積立資産である。	2,646,288
	医療機関栄養業務 実態調査預金	ゆうちょ銀行（定期） ゆうちょ銀行（普通預金） 現金	県内医療機関栄養業務実態調査 事業の積立資産である。	151,000 323,399 0
	全国公衆栄養活動 研究会預金 柴田顕彰会預金	ゆうちょ銀行 千葉信用金庫作草部支店	全国公衆栄養活動研究会事業の 積立資産である。 栄養改善功労者を顕彰するた めの事業の積立資産である。 【特定資産計】	600,000 3,527,319 7,248,006
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	11,800
	ソフトウェア 敷金・保証金	会計ソフト 紅谷正男氏に対する敷金支払額 紅谷正男氏に対する保証金支払額	敷金として 保証金として 【その他固定資産計】	0 150,000 150,000 311,800
固定資産合計				13,440,478
資産合計				31,473,279
(流動負債)				
	前受会費	会員からの預り額	2022・2023年度の会費及び入会金の預り額 公衆衛生 41名分 医 療 127名分 学 校 25名分 福 祉 107名分 地 活 109名分 研 教 11名分 【前受会費計】	410,000 1,285,000 250,000 1,072,000 1,092,000 110,000 4,219,000
	預り金	会員からの預り額 2021・2022年度分 講師からの預かり金 職員、税理士他からの預り額 協賛会員からの預かり金 2022年度分 長谷川克己先生祝賀会祝い金他	日栄会費の預り額 404名分 源泉所得税の預り額 源泉所得税の預り額 協賛会費 1口分 祝賀会祝い金他 6名分他 【預り金計】	2,633,400 1,137 31,974 50,000 38,000 2,754,511
流動負債合計				6,973,511
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの 【退職給付引当金計】	2,643,670 2,643,670
固定負債合計				2,643,670
負債合計				9,617,181
正味財産				21,856,098

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。
什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。
- (2) 引当金の経常基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	6,674,733	0	794,061	5,880,672
小 計	6,674,733	0	794,061	5,880,672
特定資産				
退職給付引当資産	2,526,266	120,022	0	2,646,288
医療機関栄養業務実態調査定期預金	101,000	50,000	0	151,000
医療機関栄養業務実態調査普通預金	360,096	8,413	45,110	323,399
医療機関栄養業務実態調査現金	1,000	45,000	46,000	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,557,285	34	30,000	3,527,319
小 計	7,145,647	223,469	121,110	7,248,006
合 計	13,820,380	223,469	915,171	13,128,678

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	5,880,672	0	(5,880,672)	0
小 計	5,880,672	0	(5,880,672)	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,646,288	0	(2,646,288)	(2,646,288)
医療機関栄養業務実態調査預金	474,399	0	(474,399)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,527,319	0	(3,527,319)	0
小 計	7,248,006	0	(7,248,006)	(2,646,288)
合 計	13,128,678	0	(13,128,678)	(2,646,288)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	17,262,213	11,381,541	5,880,672
什器備品	1,495,829	1,484,029	11,800
ソフトウェア	338,256	338,256	0
合 計	19,096,298	13,203,826	5,892,472

以上のとおり相違ありません。

2022年4月13日

公益社団法人 千葉県栄養士会
会 長 杉 崎 幸 子 印
副会長 鯨 岡 春 生 印
副会長 高 澤 博 道 印

監 査 報 告 書

公益社団法人千葉県栄養士会
会 長 杉 崎 幸 子 様

2022年4月13日

公益社団法人千葉県栄養士会
監 事 永 井 富 貴 子 印

公益社団法人千葉県栄養士会
監 事 酒 井 秀 大 印

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。